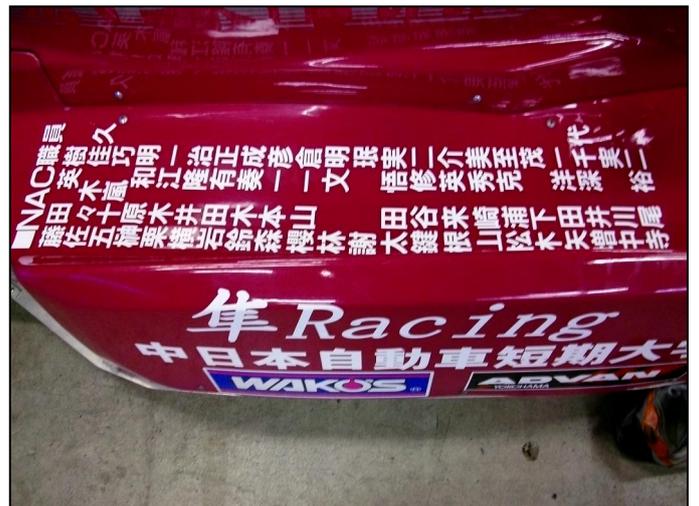


2010 MOTEGI
Champion Cup Race
Round 2

2010.6.27
Takuya Fujimoto

Race Report





出場クラス・・・スーパー FJ

出走台数・・・17 台

ゼッケン・・・30

結果

予選・・・4 番手

決勝・・・リタイア

第 2 戦は、金曜日からサーキット入りし、金曜日に 4 本、土曜日に 3 本の練習走行があり、日曜日に予選と決勝という流れでした。金曜日、土曜日はドライコンディションでの走行でした。タイヤの状態が悪かったため、セッティングを煮詰める事はほとんどせずに、金曜日、土曜日とも、ひたすら走りこみとなりました。

今回は、ギア比を変更して初めての走行でした。ノーマルのギアに比べて 2、3、4、5 速がショートギアになったため、シフトミスがかなり少なくなり、ブレーキングやコーナーアプローチに集中する事が出来ました。そのため、開幕戦 (3/7) の時に比べて、タイヤの状態や季節が悪いにもかかわらず、1 秒近くタイムアップすることが出来ました。左足ブレーキも今回の練習から初めて使いました。右足ブレーキに比べて、圧倒的に踏力がかけやすく、踏力コントロールも断然やりやすく感じました。1 秒近くのタイムアップのうち 0.3 秒ほどは、左足ブレーキのおかげだと思えます。

金曜日、土曜日の練習では、まずは左足ブレーキと変更したギアに慣れることから。そこから新品タイヤを履いた時のイメージをしながらのブレーキングやコーナーへのアプローチをしていきました。

土曜日の時点で、トップ (NEW タイヤ装着) とのタイム差は 3 秒以上ありましたが、NEW タイヤを履いた時のイメージが出来ていたため、焦りなどの気持ちはありませんでした。

土曜日の夜に雨が降り、日曜日の予選では、ハーフウェットの路面コンディションで走行開始となりました。しかし、レコードラインはほとんど乾きかけていたため、ドライの NEW タイヤでの走行になりました。(20分間)

どんどん乾いていく難しいコンディションだったため、路面の状況を常に把握して走らないとタイムは出せないと思いました。5 Lap ほど走ると、ほぼ完全なドライコンディションとなり、タイムも自己ベストをどんどん更新していきました。ただ予選の間、ロガーの回転センサーが検知なくなり、シフトアップポイントが分からない状態で走行していたため、肝心なところでレブをあててしまったり、エンジン回転をトップまで使いきれていなかったりと、自分ではベストを出し切れなかった感じです。予選は、4番手のタイムで終了しました。

この予選で、NEW タイヤなら WEST マシンでも R&D マシンと勝負できる手応えを感じました。WEST マシンは中古の古いタイヤでは、オーバーが強くなり、乗りこなすのが難しくなります。そのため練習では3秒差がありましたが、新品タイヤを履いた予選では1秒差まで詰め寄ることが出来ました。もっと新品のグリップ力に慣れ、マシンをセットアップしていけば、1秒のタイムアップは可能だと思います。

決勝では、本格的に雨が降ってきました。レインの NEW タイヤに交換し、スタートしました。レインタイヤは皮むきをしていない状態だったため、フォーメーションラップで他のドライバーよりも多くタイヤの皮むきを行い、タイヤに熱を入れて、オープニングラップで1番先頭に出る気でいました。そうするためフォーメーションラップでは、かなりの勢いでウェービングをしていました。リアタイヤにもしっかり熱を入れようと、バックストレートではリアスライドする勢いでウェービングを行っていたのですが、急にリアのグリップが抜けてスピンモードに入り、止まりきれずにガードレールにぶつかってしまい、リタイアとなってしまいました。

今回のレースの敗因は、練習不足です。決勝のスピンにしても、マシンがどんな挙動を起こすかあらかじめ予測がたてられるようになるには、練習と経験をつむしかありません。それさえ出来るようになれば、どんなマシンに乗っても速く走れるようになります。次までに、それが出来るようになるようしっかり練習します。